

事例14 水田の大区画化に対応した機械の導入にむけて

碓ヶ関村 久吉

協定面積 田28ha 協定参加者 66人

- 久吉集落は碓ヶ関村の中で最も秋田県境に近く、津荇川の谷間に沿って水田、りんご園が広がっています。
- 平成10年度から久吉地区緊急農地集積ほ場整備事業に着手し、平成14年に面工事がほぼ終了し、大区画に整備された27haの水田で作付けが可能になりました。
- ほ場整備前は自己完結型農業でしたが、ほ場整備事業を契機に集落営農への志向が強くなり、共同で利用する高性能の農業機械の導入を進めることになりました。このため、交付金を100%積み立て、県単事業を活用しながら田植機自脱型コンバインを導入することにしました。
- 今後は、大区画に対応した作業体系や省力技術の確立、余剰労働力の有効活用方法を検討していきます。



交付金の利用方法を話し合う